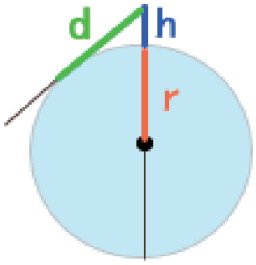
地球が球体ではないことを証明する無数にあるうちの一つの証拠

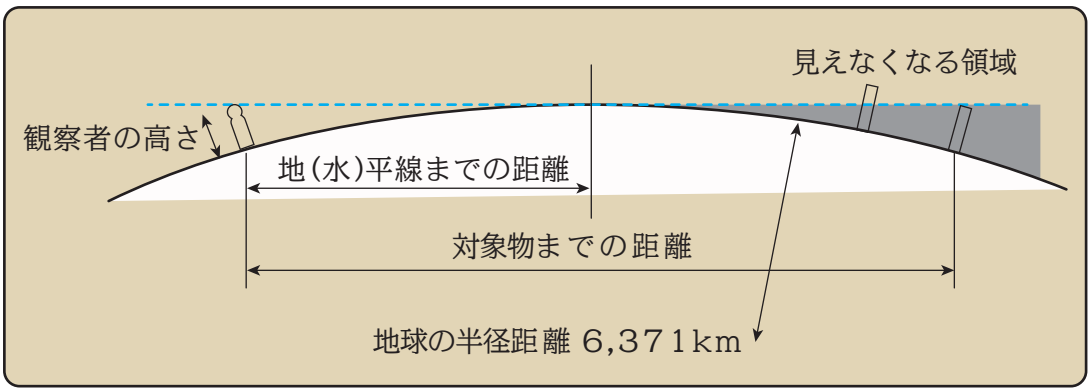
地球の半径は 6,371km であるとされています。
地球の「曲率」というのがあって、例えば、地上 1m からまっすぐ前を見ると 3.6km 先に地平線が見えるということなので、その更に先は段々足元が地平線に隠れて見えなくなり、倍の距離 7.2km 先の高さ 1m のものは、全く見えないということになります。



曲率計算式

h　観察者の高さ
d　地平線までの距離
r　地球の半径

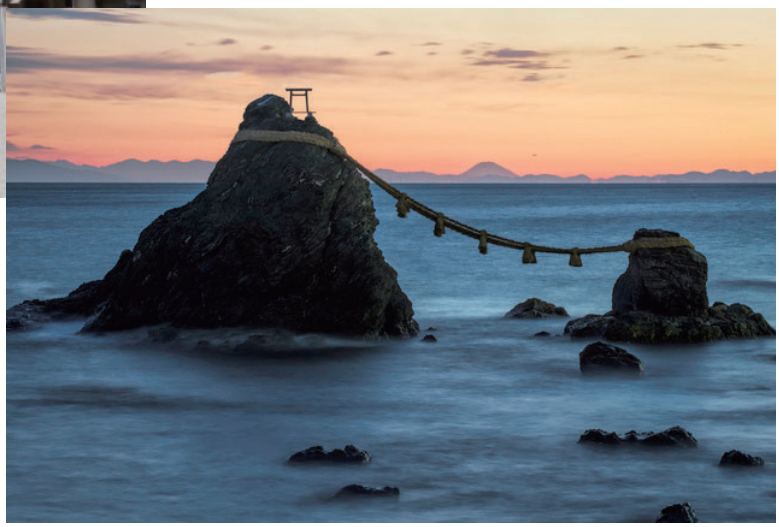
$d=1.06\sqrt{h(2r+h)}$



さて、三重県に二見興玉神社という観光名所があるそうで、特に「二見興玉神社より望む夫婦岩と富士山」というのが人気だそうです。
この神社から２０１km の距離にある富士山はどのように見えると思いますか。

三重県の二見興玉神社（ふたみおきたまじんじゃ）

三重県伊勢市二見町江575

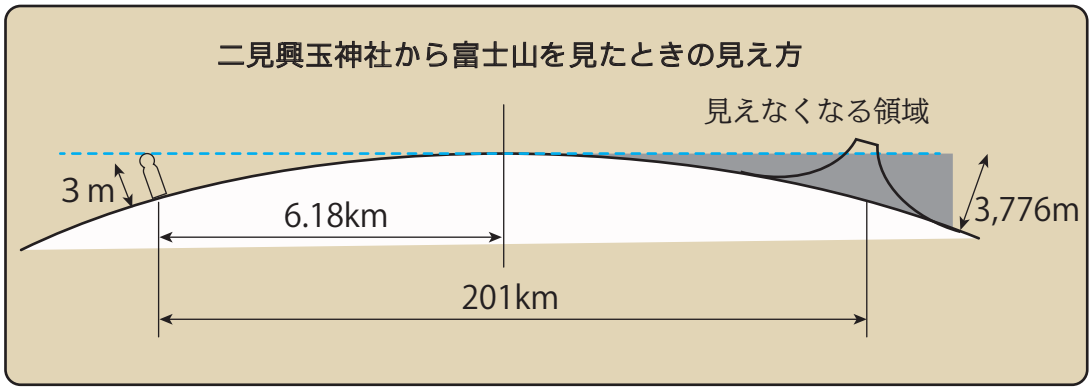


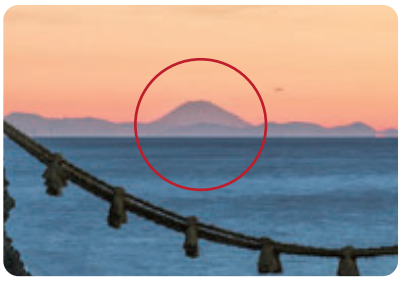
この神社の境内と思しき場所は、写真で見る限り、海面からせいぜい２ー2.5m程度のようで、普通に立って目の高さ 1.5m として撮影すると、高さ 4m くらいでしょう。

観察者高 3.5mとして、富士山の標高は 3,776mとされていますので、曲率で計算しますと、6.67km 先は水平線で、海抜 2963m までは水平線の下に隠れて見えなくなることになります。

大雑把なイメージ図ですが、大体こんなスケーリングになります。

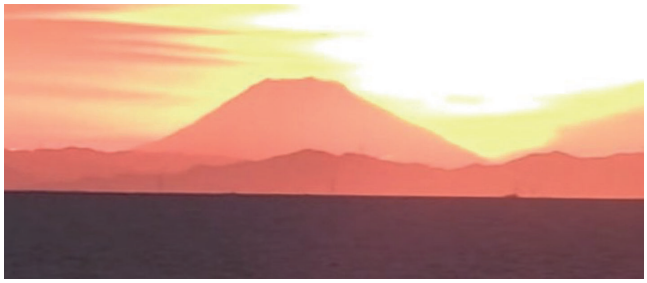
ですから、地球が球体だとすると「二見興玉神社から望む富士山」はこんな景色になるはずです。





実は前のページ「夫婦岩」の向こうに「富士山」映っていました。

下の写真は、全く別の、写真です。



三河湾の向こうに風力発電のプロペラの塔があり、富士山手前の小高いところは豊橋辺りかもしれません。
富士山は上部の一部どころか、裾野の延長を考えると、その全容が映っていると言えるでしょう。
これが何を物語っているかと言えば、「地球は球体である」という通説、常識が全くの嘘だと言うことです。
これは、地球がフラットであるという無数に存在する証拠のほんの一つです。